

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 会議の開催

(1) 総会 平成30年5月29日(火) 鈴鹿高専 生物応用化学科・教室棟 第3合併講義室

総会出席者：63名，懇親会参加者 45名

1) 議事

- ① 第1号議案 平成29年度事業報告について
- ② 第2号議案 平成29年度収支決算報告
について
監査報告
- ③ 第3号議案 平成30年度事業計画(案)
について
- ④ 第4号議案 平成30年度収支予算(案)
について



兼松 秀行氏による基調講演

- 2) 基調講演：「高専で研究を進めるにあたっての，様々な連携の重要性について」
(鈴鹿高専 材料工学科 兼松 秀行 教授)
- 3) 産学連携アラカルト：
 - 「生体骨に近い弾性率を有する新しい生体用チタン合金の開発」
(鈴鹿高専 材料工学科 黒田 大介 准教授)
 - 「電磁気現象を利用したイメージングによる非破壊検査手法の開発」
(鈴鹿高専 電気電子工学科 橋本 良介 助教)
- 4) 会員企業との共同研究紹介：
 - 「ヒトエグサ由来物質のバイオ市場展開を目指した取り組み」
(鈴鹿高専 生物応用科学科 小川 亜希子 准教授)

(2) 理事会

1) 第1回理事会 平成30年4月27日(金) 15:00～ 事務・教養棟2階 会議室B
出席者 18名

- ① 平成30年度 通常総会議案書(案)について
- ② 高専の教育，国際交流の充実の支援に関して
- ③ 今年度の事業実施について〔企業技術者対象の講習会，高専祭での会員企業展示，企業見学会，会員増強の取組み，終身個人会費，事務局員増員についてなど〕
- ④ 今年度の収支予算案について

2) 第2回理事会 平成30年10月9日(火) 事務・教養棟2階 会議室B 出席者 28名

- ① 今年度の会員動向と増強策について (H30年5月総会(95社)以降)
- ② 鈴鹿高専テクノプラザ「職業あっせん組織(おしごと広場みえ)」紹介事業と三重労働局の見解
- ③ 鈴鹿高専卒業生による知的シルバー人材バンクの設立
- ④ テクノプラザ事務業務の効率化と増員依頼
- ⑤ 共同研究, 受託研究, 技術相談の支援について
- ⑥ 今後の事業の実施について[企業ガイドブック2018の作成, 高専祭企業展示, 高専祭 学科展示作品の審査とテクノプラザ賞の表彰, 合同業界説明会, 企業交流会など]

2. 事業の実施

(1) 会員企業との共同研究等による研究協力の推進

1) 共同研究・受託研究への支援

共同研究6件。受託研究3件を支援した。(助成総額987,936円)。

[支援内容: 会員企業からの共同/受託研究費(間接経費10%を含めた研究費)の20%を, 担当の高専教職員に寄附金として助成する。但し, 1件20万円を上限とする。]

2) 会員企業の技術相談に関する助成

会員企業からの技術相談は, のべ6件であった。(1回のみが4件)

年間を通して2回に及ぶ今年度の相談は1件(今年度の助成13,500円)であった。

[支援内容: 同様な内容の技術相談が1年以内に2回以上に及ぶ会員企業からの相談料は, 2回目以降も無料とし, 相談担当の高専教職員に寄付金として助成する。]

(2) 会員企業間および高専との人的, 情報交流の推進

企業交流会 平成30年11月13日(火) 午後 鈴鹿高専 視聴覚教室

参加者: 46名

- 1) 招待講演 【演題】「私の経験から考える産学連携成功の秘訣」
【講師】宮本 明 氏(大阪大学・東北大学 未来科学技術共同研究センター
シニアリサーチフェロー 名誉教授)
- 2) 会員企業紹介「スポーツ用具と複合材料」
益田 直幸 氏(ミズノテクニクス株式会社 生産技術部 専任次長)
- 3) 鈴鹿高専教員の研究に関わる話題提供
 - ① 「生体機能を模した人工知能アルゴリズム開発」
生田 智敬 氏(鈴鹿高専 電気電子工学科 助教)
 - ② 「個人情報の安全な利活用に向けた匿名化技術のご紹介」
正木 彰伍 氏(鈴鹿高専 機械工学科 教授)
- 4) 高専祭 学科展示優秀作品の紹介
終了後, 懇親会を開催 青峰会館 参加者 38名



宮本 明 先生による招待講演



学科展示優秀作品の紹介

(3) 会員企業の技術向上に関する支援

1) 企業技術者対象の講習会

- ・開催日：平成30年9月26日（水）午後
- ・場所：鈴鹿高専 電子情報工学科実験室
- ・テーマ名：「マイコン電子制御入門
～Arduinoからはじめよう～」

・講師：鈴鹿高専

電子情報工学科 板谷 年也 准教授

電気電子工学科 橋本 良介 助教

教育研究支援センター 森川 哲 技術専門職員



実習風景

- ・参加者：7社から13名

2) 会員企業見学会の実施

開催日：平成30年9月11日（火）午後

見学先：井村屋(株) 本社工場

参加者：20名



井村屋(株) 本社工場にて

3) 鈴鹿高専教員の企業訪問による『出前講座』の実施

3社からの申込みがあり、企業が講師謝金を負担頂くことにより実施した。
昨年度より夏季休業中に加え春季休業中にも実施することとした。また、出前講座のメニューを作成しHPに掲載した。

【出前講座】2社

- ・「化学工学基礎講座 流動，伝熱，物質移動（拡散）の基礎」
(9月7日（金）教員1名，受講者7名)
- ・「材料力学の概要と実験応力ひずみ解析の紹介」
(9月12日（水），教員1名，受講者22名)

【出前講座事前講座】1社

- ・「砂からガラスを作る，イタリア・フランスの経済構造と企業経営」
(7月30日（月），教員2名，受講者1名)
- ・「流体力学基礎，物理」
(6月25日（月），教員2名，受講者1名)

4) 講演会の開催

<鈴鹿高専の事業との連携による講演会>

SUZUKA産学官交流会・第48回産学官交流フォーラム〔2月27日（水）〕

講演1『IoT・AI技術の福祉ロボット、ロボコンへの応用』

鈴鹿高専 機械工学科 准教授 打田正樹 氏

講演2『緑藻アオサ（ヒトエグサ）の効能の科学的根拠』

鈴鹿医療科学大学 社会連携研究センター長 鈴木宏治 氏

講演3『オールバイオマス成形品によるプラスチック代替』

三重大学大学院生物資源学研究科 教授 野中 寛 氏

5) メールによる会員企業向けの情報提供

- ・ 航空業界 News〔航空宇宙人材育成/新規参入支援 CD川合勝義氏からの配信〕52回
- ・ 「みえ産学官技術連携研究会総会および三重県工業研究所事業成果発表会」のご案内
- ・ (公財) 三重県産業支援センター「産業技術の芽」シーズ発表会，「IoT・AI活用セミナー」のご案内
- ・ 「第4回 Sums-NITS 医工連携研究会」のご案内
- ・ 「第5回 Sums-NITS 医工連携研究会」のご案内
- ・ 日刊工業新聞社三重支局「千葉県企業誘致セミナー2018 in名古屋」，「明るい日本のモノづくりSP3」のご案内
- ・ 三重県産業支援センター・高度部材イノベーションセンター「ナノ粒子の基礎と応用展開」開催のご案内
- ・ 三重県産業支援センター「化学・プロセス産業基礎講座」受講者募集
- ・ 鈴鹿高専よりA-STEP（研究成果最適展開支援プログラム）のご案内
- ・ 「SUZUKA産学官交流会・第48回産学官交流フォーラム」のご案内

(4) 人財確保の支援, 会員企業PR

1) 「企業ガイドブック2018」の作成と就職希望学生への配布

- ・平成30年11月7日(水)
- ・企業会員87社分を掲載し製本して、4年生と専攻科1年生の就職希望学生に配布するとともに、鈴鹿高専教職員に配布して、会員企業を紹介した。(94頁/部, 180冊)



企業ガイドブック2018の発行

2) 合同業界説明会での会員企業紹介

- ・平成30年11月7日(水)
- ・会員企業49社が参加して、学科4年生, 専攻科1年生および学科3年生の就職希望学生および保護者を対象に開催した。
- ・実施内容: 体育館にて企業ごとにブースを設定し, 20分毎の学生入替制により業界説明や企業紹介の個別説明会を行った。



合同業界説明会の風景 (第1体育館)



高専祭での企業展示 (第2体育館)

3) 高専祭での会員企業展示 [10月20日(土), 21日(日)]

- ・企業会員109社の企業ガイドブック原稿拡大版または企業HP記載内容の要約版をA2サイズの大きさに衝立に貼って紹介した。
- ・追加展示(自社製品やその製造過程による一押し技術の紹介)を募り, 11社が出展した。
- ・来客者数: 20日(土) 午前175(206)名, 午後256(114)名 合計431(320)名
21日(日) 午前292名, 午後256名 合計451名 総計882名()内は昨年度実績
- ・高専祭実行委員会が作成したポスター掲示板(校内2箇所)に, 高専祭協賛企業のB3サイズのポスターを掲載し, PRすると共に実行委員会の活動を支援した。テクノプラザを含め20社から協賛金を頂いた。

4) 鈴鹿市ものづくり企業交流会での活動紹介

- ・平成30年1月21日(日) 於: 鈴鹿ハンター
- ・テクノプラザ事業内容の紹介, 会員企業の紹介, 研究に関わる協働事業の実施例の紹介など, パネル展示によるPRを行った。

6) 銘板の増設

- ・ 会員企業数の増加に伴い、会員名を記載した壁面設置型銘板が手狭となったため、1面を増設した。今後、個人会員の増強を図り増設した銘板が一杯になるように運営していきたい。
- ・ 鈴鹿高専を支援頂く企業会員、特別会員、個人会員を本校の教職員や学生に紹介するとともに来校者にPRし、入会の勧誘を図ることとする。



テクノプラザ会員の銘板

(5) 高専の教育、国際交流の充実、および学生との交流の促進

1) 高専の技術者教育

- ① Noorani教授 (Loyola Marymount University) による講演 [6月12日 (火)]
 - ・ 講演題目: 「The Benefits and Challenges of Study Abroad in America」
「アメリカでの研究や留学の利点」
- ② Vilpanur 教授 (カリフォルニア州立大学ポモナ校) 学生向け特別講演会 [11月19日 (月)]
 - ・ 講演題目: 「Cal Poly Pomona - an Inclusive Polytechnic University」
「キャルポリ・ポモナ - 包括的な工業大学」

2) 学生海外派遣支援

海外インターシップ 9/4 (月) ~9/20 (水)

((株) レグルス (本社、鈴鹿市) のタイ Regulus) 2名支援 (5万円×2人)

3. 会員企業への就職学生数について

- ・ 平成25年度: 会員企業7社に11名
(機械工学科: 2名, 電子情報工学科: 2名, 生物応用化学科: 3名, 材料工学科: 4名)
- ・ 平成26年度: 会員企業6社に7名
(電気電子工学科: 1名, 生物応用化学科: 2名, 材料工学科: 4名)
- ・ 平成27年度: 会員企業4社に10名
(機械工学科: 1名, 電気電子工学科: 2名, 生物応用化学科: 3名, 材料工学科: 3名, 電子機械工学専攻: 1名)
- ・ 平成28年度: 会員企業9社に17名
(機械工学科: 4名, 電気電子工学科: 2名, 電子情報工学科: 1名, 生物応用化学科: 2名, 材料工学科: 8名)
- ・ 平成29年度: 会員企業9社に15名
(機械工学科: 5名, 電気電子工学科: 2名, 電子情報工学科: 0名, 生物応用化学科: 4名, 材料工学科: 4名)

- ・平成30年度： 会員企業10社に14名
 (機械工学科：3名，電気電子工学科：0名，電子情報工学科：0名，
 生物応用化学科：7名，材料工学科：3名，応用物質工学専攻 1名)

4. 会員数の推移について

	企業会員	個人会員	特別会員	退会企業
H25年 設立総会(3月)	27社	2名	2団体	—
H26年度 総会(5月末)	47	4	8	8
H27年度 総会(5月末)	50	4	9	1
H28年度 総会(5月末)	58	6	10	3
H29年度 総会(5月中旬)	63	6	11	1
H30年度 総会(5月末)	94	9	12	1
H31年度 総会(4月末)	116	15	12	3